



図1 試験区の栽培状況

表2 暖房機の灯油消費量と電力消費量

	EOD-Heating区	慣行区
灯油消費量 (L/100坪)	1,902.2	2,909.8
削減率	35%	—
電力消費量 (kwh/100坪)	349.0	486.5
削減率	28%	—

注1) 現地実証ハウスの10/18～12/26までの測定値。
電力消費量は温風暖房機稼働のための200V電力の測定値。
注2) 測定は灯油: オイルメーター(日東精工・RE10LF)
電力: 電力計(三菱電機・三相3線式普通電力計M2LM)を使用。

表1 収穫時期と切り花品質

	EOD-Heating区	慣行区
採花盛期	12月26日	1月26日
等級・階級	秀・2L	秀・2L
切り花長(cm)	112.6	122.0
葉数(枚)	59.8	76.6
茎径(mm)	7.4	7.8

注1) 2012年12月26日、12株調査
注2) 切り花長は90cm以上を確保できれば階級2Lに該当する。



図2 暖房機の灯油消費量と電力消費量の推移

注) 積算値として表示

表3 現地実証圃における経済性比較(円/10a/作)

科目	EOD-Heating区	慣行区	削減率
粗 販売額(見込額)	1,971,341	1,971,341	—
収 収量(本/10a)	23,694	23,694	—
益 単価(円/本)	83.2	83.2	—
光熱動力費	593,205	894,439	34%
灯油代 (89円/L)	558,676	854,602	35%
電気料金(暖房機)	16,916	22,224	24%
電気料金(その他)	10,016	10,016	0%
その他	7,597	7,597	0%
経 営 費			
小農具費	32,931	13,131	-151%
4段サーモ代金	19,800	0	—
その他	13,131	13,131	0%
その他物財費	629,663	629,663	0%
流通経費	278,946	278,946	0%
経営費計	1,534,745	1,816,179	15%
所 得	436,596	155,162	—
所 得 率 (%)	22.1%	7.9%	—
労働時間(h/10a)	250.8	250.8	0%
時間当たり所得	1,741	619	—

注1) EOD-Heating区採花終了時点での収支比較。慣行区は採花が遅れたため、粗収益をEOD-Heating区と同等とした。
注2) 年2作体系の1作型の収支として算出。単価は仙台市中央卸売市場、2012年12月17～28日、白輪菊の平均値を用いた。
注3) 4段サーモ代金は耐用年数7年相当として年間負担額を算入
注4) 100坪ハウスによる実証を10aあたりに換算した。

引用文献

川西孝秀・島浩二・林寛子・道園美弦・久松完. 2012. 日没の時間帯からの短時間の昇温処理がスプレーギクの生育, 開花および切り花品質に及ぼす影響. 園学研. 11(2): 241-249.
※本研究は農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」によって得られたものである。